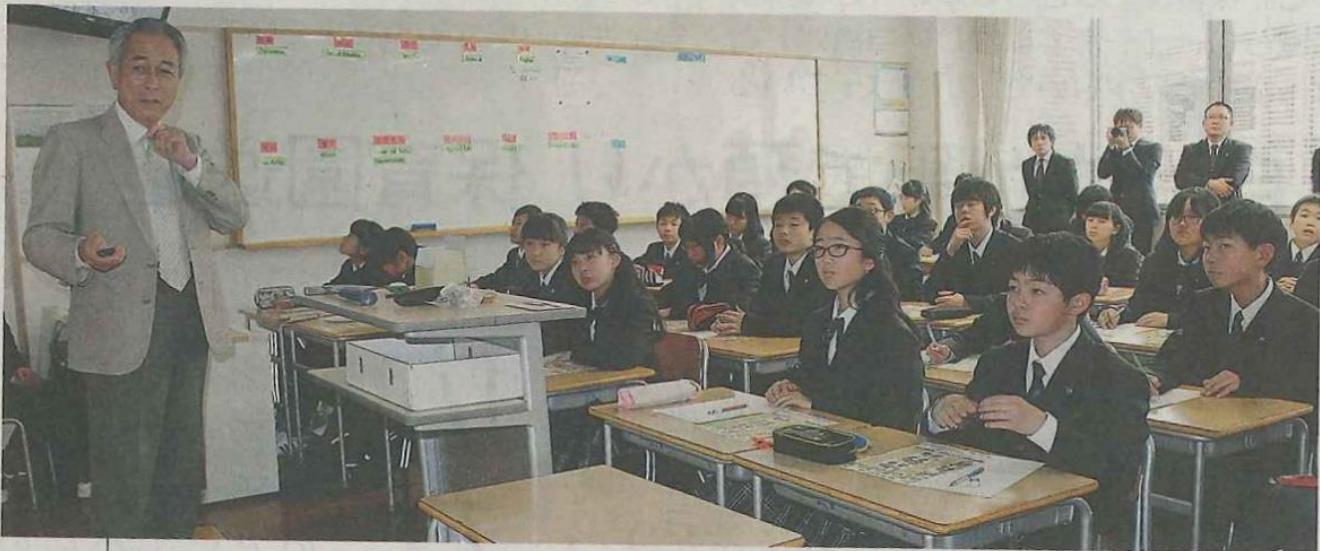


2016年4月22日付 中日新聞「校長による地震特別講座」

# 周りの地質に关心を



松本秀峰中等教育学校

## 熊本地震受け 校長が特別講座

大きな被害が出ている熊本地震を受け、松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校は二十一日、一年生を対象に地震に関する特別講座を開いた。小坂共栄校長（七二）は信州大名誉教授、地質学が講師を務め、八十人の生徒が地震発生のメカニズムなどを学んだ。

（中津芳子）  
松本市では二〇一一年六月、震度5強を観測した地震が起きていた。軟弱な地盤ほど揺れる。今年四月に校長に就いた小坂校長は「信州大震動調査グループ」の代表として調査にも当たり、今回は、生徒たちに地震や同市の地質などに关心を持つてもらおう、と講義を受けた。

（中津芳子）

講義はクラス別に開かれた。一年一組の教室では小坂校長がスライド「活断層」などの経路などを調べておきた用語を解説した上で、いと感想を話してい一年の地震を例に、た。

松本校長の講義を真剣な表情で聴く生徒たち（左）松本市の秀峰中等教育学校で